

IV 調査観察に関する事項  
1 主要病害虫の発生概況

農作物名 作付面積 (ha)	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
水稻 50, 600	いもち病 (苗いもち)	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	いもち病 (葉いもち)	並	並	15, 900	6 月には発生が認められず、7 月上旬に平年並の発病株率及び発病度となった。
	いもち病 (穂いもち)	並	並	2, 900	7 月下旬は平年並、収穫期は少の発病穂率及び発病度となった。
	紋枯病	並	多	27, 500	7 月上旬まで発生が認められず、7 月下旬はやや多、収穫期は多の発病株率及び発病度で推移した。
	白葉枯病	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	もみ枯細菌病 (苗腐敗症)	並	少	0	発生は認められなかった。
	もみ枯細菌病	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	ごま葉枯病	並	やや多	18, 700	7 月上旬はやや少、以降は収穫期までやや多の発病株率及び発病度で推移した。また、本病による穂枯れ症状は見られなかった。
	黄化萎縮病	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	苗立枯病	並	やや多	3, 100	4 地点で発生が認められ、原因菌はリゾプス、フザリウム、ピシウム、トリコデルマの 4 種類が確認された。
	ばか苗病 (苗)	並	並	5, 400	7 地点で発生が認められた。
	ばか苗病 (本田)	並	並	700	1 地点で発生が認められた。
	稲こうじ病	並	並	0	本年は発生は認められなかった。
	縞葉枯病	並	並	4, 300	7 月下旬から収穫期にかけて、平年並の発病株率となった。
	萎縮病	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	黄萎病	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	ニカメイガ	早	やや多	2, 200	7 月上旬にやや多、以降は平年並の被害株率及び被害茎率となった。 予察灯による成虫の誘殺数は、4 月～6 及び 9 月は多、7～8 月は平年並で推移し、越冬世代及び第 1 世代ともに発生が多い傾向となった。
	セジロウンカ	早	多	21, 690	本田すくい取り調査では、6 月上旬から収穫期にかけて捕獲され、捕獲数は平年並～多で推移した。
	トビロウンカ	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	ヒメトビウンカ	やや早	多	49, 150	本田すくい取り調査では、6 月上旬から収穫期にかけて捕獲され、捕獲数は平年並～多で推移した。
	ツマグロヨコバイ	やや早	やや多	39, 760	本田すくい取り調査では、6 月上旬から収穫期にかけて捕獲され、捕獲数はやや少～やや多で推移した。
	斑点米カメムシ類	早	多	26, 000	本田すくい取り調査について、7 月上旬～収穫期では、大型斑点米カメムシ類の捕獲虫数は、やや多～多、カスミカメムシ類は平年並～多で推移した。 予察灯による誘殺数は、クモヘリカメムシとイネカメムシは 7 月～9 月はやや多～多、その他の大型斑点米カメムシ類は平年並～多となった。
	イネミズゾウムシ	並	多	41, 900	5 月上旬～6 月上旬にかけて、多の発生であった。
	コブノメイガ	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	イチモンジセセリ (イネツトムシ)	やや早	やや多	2, 200	6 月にやや多の被害苞数となったが、7 月上旬にはやや少となった。以降は発生が見られず、平年並となった。
サツマイモ 3, 400	フタオビコヤガ	並	やや多	1, 400	6 月上旬から発生が見られ、7 月上旬にはやや多の発生となった。以降は平年並で推移した。
	イネゾウムシ	並	やや多	27, 500	5 月はやや多、6 月は平年並の発生であった。
	イネドロオイムシ	並	多	34, 000	5 月上旬～6 月上旬にかけて、多の発生であった。
	イネクロカメムシ	並	多	3, 600	生育期間全般において、成幼虫寄生株率は平年並～多で推移した。 予察灯による誘殺数は、4 月に多、9 月にやや多となり、越冬世代及び第 1 世代ともに発生が多い傾向となった。
	スクミリンゴガイ	並	やや多	10, 200	特定の調査地点で貝密度が高く、被害株率は 5 月上旬～6 月上旬に、多の発生であった。
	立枯病	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ハスモンヨトウ	やや早	多	1, 360	9 月に多発生となった。
	ナカジロシタバ	並	並	850	平年並の発生であった。
	イモキバガ	並	並	2, 040	平年並の発生であった。

農作物名 作付面積 (ha)	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
ラッカセイ 4,590	白絹病	やや早	やや多	3,670	平年より早くから発生し、やや多の発生であった。
	褐斑病	並	並	4,590	平年並～やや少ない発生であった。
	そうか病	-	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	黒渋病	-	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	茎腐病	-	やや少	0	本年度は発生が認められなかった。
	コガネムシ類	並	多	3,210	7月に多発生となった。
	ヒョウタンゾウムシ類	並	やや多	4,590	平年よりやや多い発生であった。
夏秋トマト 426	疫病	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	葉かび病	-	並	0	調査圃場は全て耐病性品種のため、発生が認められなかった。
	灰色かび病	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	モザイク病	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	萎凋症	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	オンシツコナジラミ	並	並	214	7月に平年並の発生となった。
	タバココナジラミ類	並	多	426	調査期間を通して多～やや多の発生であった。
	アブラムシ類	早	多	43	8月に多発生となった。
	ハスモンヨトウ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	アザミウマ類	-	やや少	0	本年度は発生は認められなかった。
	ハモグリバエ類	並	並	107	10月に並の発生となった。
	タバコガ類	並	多	43	8月に多発生となった。
冬春トマト 220	疫病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	灰色かび病	遅	やや少	66	12～3月は発生が認められなかった。4月はやや少の発生であった。
	うどんこ病	並	並	22	並～やや少の発生であった。
	黄化葉巻病	並	やや多	44	やや多～並の発生であった。
	すすかび病	並	多	44	1、2月は多の発生であった。12、3、4月は発生が認められなかった。
	葉かび病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	モザイク病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	萎凋症	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	オンシツコナジラミ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	タバココナジラミ類	並	やや多	22	12月はやや多の発生であった。1～4月は発生が認められなかった。
	アブラムシ類	並	並	22	12～3月は発生が認められなかった。4月はやや多の発生であった。
	ハスモンヨトウ	早	多	22	12月は多の発生であった。1～4月は発生が認められなかった。
	アザミウマ類	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ハモグリバエ類	並	並	22	12月は並の発生であった。1～4月は発生が認められなかった。
	タバコガ類	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
冬春キュウリ 188	べと病	遅	並	75	11～12月は発生が認められなかった。1月は少の発生、2月は並の発生であった。
	うどんこ病	並	やや少	113	やや少～少の発生であった。2月は発生が認められなかった。
	灰色かび病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	菌核病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	斑点細菌病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	炭そ病	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	褐斑病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	疫病	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	モザイク病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	アブラムシ類	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ハスモンヨトウ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	オンシツコナジラミ	-	やや少	0	本年度は発生は認められなかった。
	タバココナジラミ類	並	多	150	11月はやや多の発生、12～2月は多の発生であった。
	ワタヘリクロノメイガ	-	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	アザミウマ類	並	やや多	47	11～12月は発生が認められず、1～2月はやや多の発生であった。
	ハモグリバエ類	並	やや多	38	11月はやや多の発生であった。12～2月は発生が認められなかった。
	ハダニ類	-	-	75	11月のみ発生が認められた。

農作物名 作付面積 (ha)	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
スイカ 916	つる枯病	並	やや多	180	4～5月は発生が認められなかった。6月はやや多の発生であった。
	炭そ病	－	多	270	4～5月は発生が認められなかった。6月は多の発生であった。
	うどんこ病	早	多	730	4月は多の発生、5月は発生が認められず、6月はやや多の発生であった。
	菌核病	－	－	90	4～5月は発生が認められなかった。6月は発生が認められた。
	アブラムシ類	並	やや多	550	4月は並の発生、5月はやや多の発生、6月は並の発生であった。
	ハダニ類	並	やや多	370	4、5月は並の発生、6月はやや多の発生であった。
春キャベツ 1,230	菌核病	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	灰色かび病	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	黒腐病	早	多	980	12～1月に多発生となった。
	腐敗病	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	アブラムシ類	並	多	1,230	1月以降に多発生となった。
	コナガ	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	モンシロチョウ	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	タマナギンウワバ	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ハスモンヨトウ	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
	ヨトウガ	－	並	0	例年同様、発生は認められなかった。
冬キャベツ 1,360	菌核病	並	やや多	910	2月にやや多発生となった。
	灰色かび病	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	黒腐病	並	多	1,360	11月以降に多発生となった。
	腐敗病	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	アブラムシ類	並	多	450	2月に多発生となった。
	コナガ	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	モンシロチョウ	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	タマナギンウワバ	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ハスモンヨトウ	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ヨトウガ	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
秋冬ネギ 1,210	さび病	並	並	150	並の発生であった。8～12月は発生が認められなかった。
	べと病	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	黒斑病	並	並	240	7～8月は並の発生であり、9～12月は発生が認められなかった。
	萎縮病	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	白絹病	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	葉枯病	－	－	1,090	7～12月に発生が認められた。
	アブラムシ類	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ハスモンヨトウ	－	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	シロイチモジヨトウ	早	多	970	7～12月は多の発生であった。
	ネギハモグリバエ	並	並	730	7～10月はやや少～少、11～12月は並の発生であった。
	ネギアザミウマ	並	並	1,210	並～少の発生であった。
	ネギコガ	並	やや多	120	7～9月は発生が認められず、10月はやや多の発生であった。11～12月は発生が認められなかった。
冬レタス 311	灰色かび病	－	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	菌核病	－	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	萎黄病	－	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	モザイク病	－	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	斑点細菌病	－	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	腐敗病	－	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	べと病	－	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	アブラムシ類	並	やや多	30	11月はやや多の発生、12～2月は発生が認められなかった。
	ハスモンヨトウ	早	多	30	11、12月は多の発生、1、2月は発生が認められなかった。
	ネキリムシ類	－	並	0	本年度は発生が認められなかった。
	オオタバコガ	－	並	0	本年度は発生が認められなかった。

農作物名 作付面積 (ha)	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
サトイモ 745	汚斑病	やや遅	並	350	6～8は発生が認められず、9月はやや少の発生となった。
	モザイク病	並	多	745	6～9月の全期間で多の発生となった。
	疫病	並	並	450	6、7月は発生が認められず、8月はやや少、9月は並の発生であった。
	アブラムシ類	並	並	745	6、9月は並、7月は少、8月はやや少の発生となった。
	ハスモンヨトウ	早	多	550	6月は発生が認められず、7～9月は多の発生となった。
	ハダニ類	並	多	745	6、7月は多、8、9月は並の発生となった。
イチゴ 216	灰色かび病	やや遅	並	10	3月に平年並の発生となった。
	うどんこ病	並	やや多	50	3月にやや多の発生となった。
	炭そ病	並	多	20	11月に多発生となった。
	アブラムシ類	並	やや多	50	10月にやや多発生となった。
	ハスモンヨトウ	並	多	40	10月に多発生となった。
	コナジラミ類	やや遅	並	40	11月に平年並の発生となった。
	ハダニ類	並	並	80	10月に平年並の発生となった。
	ミカンキイロアザミウマ	並	やや多	120	2月以降にやや多の発生となった。
ナシ 1,300	黒星病	並	並	460	平年並の発生であった。
	赤星病	並	並	40	平年並の発生であった。
	輪紋病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	うどんこ病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	カメムシ類		多	330	7月、8月の発生量が多かった。
	シンクイムシ類	並	多	110	8月に多発生となった。
	ハマキムシ類	-	やや多	110	平年よりやや多い発生であった。
	ハダニ類	やや早	やや多	460	発生時期はやや早く、発生量は平年よりやや多かった。
	ナシチビガ	-	並	0	例年同様、発生は確認されなかった。
	ニセナシサビダニ	並	やや少	350	モザイク症状の被害葉は平年並からやや少ない発生であった。
	吸が類	-	並	110	平年並の発生であった。
	アブラムシ類	並	並	470	平年並の発生であった。
	カイガラムシ類	-	やや多	110	発生量は平年よりやや多かった。
カンキツ 78	そうか病	並	多	62	3～6月は多の発生であった。
	黒点病	-	少	0	本年度は発生は認められなかった。
	かいよう病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ミカンハダニ	並	多	62	3～5月、8月、10月はやや多の発生、9月は多の発生であった。
	カメムシ類	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ハマキムシ類	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ヤノネカイガラムシ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	ミカンハモグリガ	並	やや多	62	5～6月、8～9月はやや多の発生であった。
	クワゴマダラヒトリ	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	アブラムシ類	並	多	32	5月はやや多の発生、7月は多の発生であった。
	ミカンサビダニ	-	-	0	本年度は発生は認められなかった。
ピワ 124	灰斑病	並	やや多	124	4、9月はやや多の発生であった。
	アブラムシ類	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	カミキリムシ類	並	並	31	9月のみ発生が見られ、並の発生であった。
	カメムシ類	並	多	31	4月のみ発生が見られ、多の発生であった。
ストック 38	菌核病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	萎凋病	並	やや多	1	露地において12～2月に発生が見られ、やや多の発生であった。
	黒腐病	-	並	0	本年度は発生は認められなかった。
	コナガ	並	やや多	15	施設・露地ともに10月から発生が見られた。施設では、10月は多の発生、2月はやや多の発生であった。露地では、10～2月にかけて、並～少の発生であった。
	アブラムシ類	並	やや多	2	露地において11月、12月および2月に発生が見られた。11月と2月はやや多の発生、12月は並の発生であった。
	ハイマダラノメイガ	並	やや多	1	露地において10月のみ発生が見られ、やや多の発生であった。

農作物名 作付面積 (ha)	病虫害名	発生時期	発生量	発生面積 (ha)	発生経過の概要
カーネーション 16	斑点病	－	並	0	例年同様発生は認められなかった
	立枯病	並	やや多	3	9月に発生が見られ、やや多の発生であった。
	萎凋病	並	多	6	12月及び2月に発生が見られ、12月は多の発生、2月はやや多の発生であった。
	ハダニ類	並	並	3	9～10月に発生が見られ、並の発生であった。
	アブラムシ類	並	多	3	2～3月に発生が見られ、2月はやや多の発生、3月は多発生であった。
	シロイチモジヨトウ	－	並	0	本年度発生は認められなかった。
	ハスモンヨトウ	－	並	0	本年度発生は認められなかった。
	ヨトウガ	－	並	0	本年度発生は認められなかった。
	アザミウマ類	並	並	3	3月に発生が見られ、並の発生であった。
	オオタバコガ	並	並	3	10月に発生が見られ、並の発生であった。